ばい煙発生施設設置(使用、変更)届出書

年 月 日

高知県知事

様

住 届出者

氏名

(氏名又は名称並びに法人にあってはその代表者の氏名) 電話番号

大気汚染防止法第6条第1項(第7条第1項、第8条第1項)の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の 名 称		※整理番号			
工場又は事業場の 所 在 地		※受理年月日	年	月	日
ばい煙発生施設 の 種 類		※施設番号			
ばい煙発生施設 の 構 造	別紙1のとおり	※審査結果			
ばい煙発生施設 の使用の方法	別紙2のとおり	※備 考			
ばい煙の処理の 方法	別紙3のとおり				

- 備考 1 ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1に掲げる項番号及び名 称を記載すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A4とすること。

ばい煙発生施設の構造

工場	又は事業場における施設番	号						
名	称 及 び 型 ま	式						
設	置年月	日	年	月	日	年	月	Ħ
着	手 予 定 年 月	日	年	月	日	年	月	Ħ
使	用 開 始 予 定 年 月	目	年	月	日	年	月	日
	伝 熱 面 積 (m²))						
	燃料の燃焼能力 (重油換算L/h))						
規	原 料 の 処 理 能 力(t/k	h)						
	火格子面積又は羽口面断面積(㎡))						
	変 圧 器 の 定 格 容 量(kVA	A)						
	触媒に付着する炭素の燃焼能 (kg/h)	カ						
	焼 却 能 力(kg/h)							
模	乾燥施設の容量(m³)							
	電流容量(kA)							
	ポ ン プ の 動 力(kW)							
	合成・漂白・濃縮能力(kg/h	1)						

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合に は設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定 年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定す る項目について記載すること。
 - 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業 規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業	場における施設番号								
使用状況	1 日の使用時間及び 月 使 用 日 数 等 季 節 変 動	時間/回	· 回/]	時 日 / 月	時間/回	F~ 回/F	3	時 日 / 月
原材料	(本) (利) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	 							
(ばい煙	使 用 割 合								
の発生に影	次	いおう分		鉛	分	いおう分	,	鉛	
響のあ	原材料中の成分割合	1 (142))]		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1)J	1 (45)	'	11日)J
るものに	(%)	カドミウム分		弗	素分	カドミウム分		弗	素分
限る。)		7/1 (/ 2/)/		717	2N 2J	W 1 X / 21/3		714	2K 2J
	1 日 の 使 用 量								
	種類								
燃料又	燃料中の成分割合(%)	灰分	いおう	分	窒素分	灰分	いおう	分	窒素分
は電力	発 熱 量								
	通 常 の 使 用 量								
	混 焼 割 合								
排出ガス量	湿り	最大		通常		最大		通常	
(m^3/h)	乾き	最大		通常		最大		通常	
排出ガ	ス 温 度 (℃)								
排出ガス	マ中の酸素濃度(%)								
	ば い じ ん(g/m³)	最大	通常	背		最大	通常	常	
	い お う 酸 化 物 (容量 比 ppm)	最大	通常	常		最大	通常	育	
	カドミウム及びその化合物 (mg/m³)	最大	通常	常		最大	通常	Ť	
ばい煙	塩 素 (mg/m³)	最大	通常	常		最大	通常	計	
	塩 化 水 素 (mg/m³)	最大	通常			最大	通常		
の濃度	弗素、弗化水素及び弗化珪素	最大	通常			最大	通常		
	(mg/m^3)								
	鉛及びその化合物 (mg/m³)	最大	通常	常		最大	通常	片	
		最大	通常	常		最大	通常	拧	
ばい煙量		最大	通常	常		最大	通常	ř	
参考事項									

- 備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
 - 2 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における 排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
 - 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 - 4 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
 - 5 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出 量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタ ービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用(専ら非 常時において用いられるものをいう。)の別を明らかにすること。

ばい煙の処理の方法

ば	い煙処	理施設の工場又は事業場における力	施設番号						
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号									
げい	、	型理施設の種類、名称及							
設	<u>/</u> E. ^	置 年 月	日	年		日	年	月	日
着	手		月日	年		日	 年	月	日
使	用	開始予定年	月 日	年		日	 年	月	日
	排	出 ガ ス 量(m³/h)	最大	<u> </u>			<u> </u>		
			通常						
	排占	出 ガ ス 温 度 (℃)	処理前						
			処理後						
		ば い じ ん (g/m^3)	処理前						
Ап			処理後						
処		いおう酸化物	処理前						
	ば	(容量比ppm)	処理後						
	V)	カドミウム及びその化合物	処理前						
	,	(mg/m³)	処理後						
	煙	塩 素 _	処理前						
理	江	(mg/m³)	処理後						
	の	塩 化 水 素	処理前						
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	処理後 処理前						
	濃		処理後						
		鉛及びその化合物	処理前						
44	度	(mg/m ³)	処理後						
能		室 素 酸 化 物	処理前						
		(容量比ppm)	処理後						
	ば	最	処理前						
	٧١	いおう酸化物大	処理後						
	煙	(m³/h) 通	処理前						
力	量	常	処理後						
	ば い じ ん								
			化 物						
	捕	カドミウム及びその	化 合 物 素						
	集	塩							
	効変	塩 化 水	素						
	率 (%)	弗素、弗化水素及び弗							
	(%)	鉛及びその化	合物						
<i>[-</i> 1	ш	室 素酸 化			n+:	n+	rt-	<u>-</u>	п+
使	用		及び数		時~			宇 ~	時 「/『
月 使 用 日 数 等 状況 季 節 変 動			時間/ 凹	0/8	日/月	時間/ 凹	0/8	日/月	
			o (m)						
	補正された排出口の高さ He (m)								
排									
17F	ı ı	ц /2 (II	.1 / 3 /						

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
 - 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 - 4 補正された排出口の高さHeは、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。
 - 5 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添附すること。

ばい煙発生施設設置(使用、変更)届出添付書類

1.	(ばい煙の発生から排出までの過程を具体的に記載又は図示すること)							
ば い 煙 の								
排出の方法								
	排出口頂內径	煙突の笠・						
	排出口(煙突)別紙のとおり形状、実高さ地上からの高さ、排出口その形状等を図示するこ		有 ・ 無 れば					
2.	別紙のとおり	- C						
ばい煙発生施設及び ばい煙 処理 施設 の 設 置 場 所	工場事業場敷地全域配置図に当該施設の位 地図に当該工場等の場所を示したものの両		近の					
3.	別紙のとおり	力を採用すること						
ばい煙の発生及び ばい煙の処理に係る 操業の系統の概要	工場事業場全体の操業工程フローシートに 処理過程を示すこと	当該施設の使用過程、	排出ガス					
4. 排出ガスの測定箇所	別紙のとおり 煙道に設けられている場合はその場所							
5.	届出内容についての 問 合 わ せ 先	TEL						
連 絡 方 法	当該施設の状況について の 問 合 わ せ 先	TEL						
	緊 急 時 連 絡 先	TEL						
	ばい煙発生施設構造概要図(主要部分の名称、	寸法を記すること)						
6.	ばい煙処理施設構造概要図 (主要部分の名称、寸法を記すること) 燃料油試験成績表 燃料油を使用する場合のみ、使用予定のものの硫黄分、							
その他の添付書類	燃料油試験成績表 燃料油を使用する場合の 比重等の分析表を添付す		侧					
	同型施設排出ガス測定データ	施設排出ガス測定データ						
	(同型のばい煙発生施設にかかるばい煙量又は	ばい煙濃度を測定した	もの)					

- 備考 1 図面等でまとめられるものは同一図面にまとめてよい。
 - 2 変更届出の場合は変更に係るものだけ添付すればよい。
 - 3 届出正本1通とその写し1通の計2通の各々に同一添付書類を完備すること。
 - 4 2以上のばい煙発生施設についての届出は当該2以上のばい煙発生施設が同一の工場又は事業場に設置されているものであり、かつ、その種類(同法施行令で定める区分をいう)が同一である場合に限り、その種類ごとに一の届出書によって届出することができる。